

日頃の感謝を込めまして、
Xmas エグゼクティブナイトを開催いたします。
一乃庵. イタリアンスペシャルディナーと、
ARTWAY DUO <アートウェイ・デュオ>
ヴァイオリン/タタル・ヘンリ氏、ピアノ/木下 順子氏が
奏でる音楽とともに、特別な夜をお楽しみください♪



LIFESTYLE CONCIERGE。
ライフスタイル・コンシェルジュ

2019年 12月10日(火)

18:00~20:20

18:00~ ディナータイム 19:45~ 演奏

会場 : メゾンドリア・フィーユ

仙台市青葉区一番町2-7-12

グリーンウッド仙台一番町ビル 2F

※会場にはエレベーターがございます。



ARTWAY DUO

タタル・ヘンリ

木下 順子

ライフスタイル・コンシェルジュプレミアム企画
Xmas
エグゼクティブナイトVI

全席指定 お一人様 10,000円(税込)

- ・ お料理は一乃庵.【イタリアン】スペシャルディナーとなります。
- ・ お飲物は、フリードリンクでお楽しみいただけます。
- ・ チケットは1名様から承っております。
先着順となりますので、お早目にお求めください。
- ・ 6歳未満(未就学児童)のお子様は、ご入場いただけません。



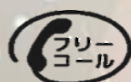
※写真はイメージです。

四季の彩り

一乃庵.

Ichinon

ご予約・お問い合わせは「ライフスタイル・コンシェルジュ」へ



0120-417-541

(月曜定休日・営業時間/10:00~18:00)

ARTWAY DUO (アートウェイ・デュオ)

タタル・ヘンリ (Henri TATAR)

スロヴァキア出身。スロヴァキアコンセルヴァトリー・コンクール入賞。スロヴァキア音楽アカデミー、ポーランドのヨーロピアン・モーツァルトアカデミー、またスイスのチューリッヒ・ヴァンタートゥア音楽大学卒業。ハンガリー人の名ヴァイオリニスト、ジョージ・パウク氏に師事。フランス、メニューイン財団オーケストラのコンサートマスターを務め、ヨーロピアン・ユニオン・ユースオーケストラのヨーロッパツアー（ロンドン・BBCプロムスなど）、ジュネス・ムジカル・ワールド・オーケストラのカナダ・ヨーロッパツアー（ベルリンフィルハーモニーホールなど）に参加する。ソリストとしてもオーケストラと協演し、スロヴァキアと日本の懸け橋になるべく活動を展開している。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団員として活動する傍ら、ピアニストの杉谷昭子・チェリストのルドヴィート・カンタとベートーヴェン室内楽に出演したり、福島、仙台、東京、横浜などでリサイタルを開催し、独自のプロジェクトも多く手がけている。最近では「SLOVAKIA FOR JAPAN」と題して、スロヴァキア大使館主催のチャリティーコンサートを企画した。

木下順子 (Junko KINOSHITA)

東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。その後チューリッヒ音楽大学大学院ソリストディプロマ取得。

8歳でアメリカ・メリーランド州ユースオーケストラとモーツァルトのピアノ協奏曲を共演したのを始め、藝大在学中ソリストに選ばれ、藝大シンフォニーオーケストラ(佐藤功太郎指揮)や、シベリウスアカデミーオーケストラと共演(ミッコ・フランク指揮)。スイス留学中はヴァンタートゥア市立オーケストラと共演し、新聞紙上で好評を得る。宝塚ベガ音楽コンクール第3位、川崎音楽賞コンクール第2位入賞。新人オーディション最優秀賞を受賞。文化庁派遣事業として、作曲家の服部公一氏と共にアメリカ各州を演奏旅行、またスイス、日本、アメリカ、ドイツなどでもソロ、室内楽などの演奏会を開催した。東京の東洋英和女学院にて後進の指導に当たるが、現在は仙台に居を移し、仙台フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリニスト、タタル・ヘンリと夫婦デュオとしての活動を積極的に展開している。これまで、東京、仙台、スロヴァキアなどでデュオリサイタルを開催し、好評を得ている。また、室内楽や管楽器・弦楽器・歌曲などの伴奏、最近ではオーケストラ鍵盤奏者としても活動を広げている。これまでに故田沢恵巳子、鈴木敬子、植田克己、クラウス・シルデ、ギッティ・ピルナーの各氏に師事する。

♪デュオとしての経歴

2005年に結成されたARTWAY DUO (アートウェイ・デュオ) は、夫婦デュオとして仙台・東京・スロヴァキアなどで演奏活動を開始し、数多くの演奏活動の中で、チャリティー、ボランティアにも力を入れて、人々に親しまれて来ました。海外ではスロヴァキア室内管弦楽団、スロバキア・シンフォニーエツカから、ソリストとして招待され、コンサートツアーではスタンディングオベーションを受け、その様子は新聞紙上やテレビでも取り上げられました。また、スロヴァキア大統領夫妻初来日の際は、御前演奏をするなど、日本とスロヴァキアの架け橋になるべく更に活動を続けています。